二〇一二年　九月

「今月の言葉」と「今月の聖語」についての紹介

今月の言葉

足ることを知らない者は
富んでいても貧しい。

『遺教経（ゆいきょうぎょう）』

任天堂ＤＳ・ＰＳＰ・携帯電話などでいつでもどこでもゲームができる時代になりました。初めは一日一時間ほどだったゲームも、ハマってしまうと、勉強や食事、さらには寝る間を惜しんでまで、やり続けてしまうことがあるかもしれません。自分が楽しむことが目的だったはずが、いつのまにか体調を崩し、授業にもついていけなくなり、結果自分が苦しむことになりかねません。

「もっと、もっと」と思ってしまう私の欲望にはキリがありません。欲望をもつことは悪いことではありませんが、欲望が自分でもコントロールできない状態になることは、危険です。楽しいはずが、苦しみを招くことになるからです。「富んでいても貧しい」というのはそのようなことを言っているように思います。そうならないためにも、なんでもほどほどにして、足りるということを知りましょう。

今月の聖語

あいつはキライ　これはダメ　あいつは困る
こいつはいい　と切り続ける　私はどうもハサミのようだ

平野修（ひらのおさむ）

この聖語を聞いた金沢市のある少年の言葉を紹介させていただきます。

「僕もハサミだ。家には、お祖母ちゃんがいる、僕が学校から帰ってくると、宿題が終わるまで僕の机の横で見張っている。そんな時、こんなお祖母ちゃんはいないほうがいいな、と思う。

でも、さつま芋の収穫を手伝った時、『よう手伝ってくれたね。これはお駄賃』と言って五百円を手に握らせてくれた時、お祖母ちゃん百年ぐらい生きて欲しいと思った。自分の都合でお祖母ちゃんが居ないほうがいい、居たほうがいいと思うのは僕もやっぱりハサミだね」（川瀬智氏の法話より）

ついつい自分の都合を優先させ、回りを顧みない「ハサミ」になってしまうこの私に、気付かせて頂く言葉。

宗教教育係